

# 金属の亀裂特殊ねじで修復

ユタカ

## 米社新工法のライセンス取得

### 溶接より低コスト

#### 子会社を設立 代理店化へ

建設資材販売のユタカ(新潟市、池田信義社長)は、工場などの設備に使用している金属に発生した亀裂を、特殊ねじを使って補修する米国新工法ライセンスを国内で独占取得した。既に修理を専門に手掛ける子会社「ロックンステイツジャパン」(同市)を設立し、自社で施工を実施。今後は補修ノウハウや工具の二次ライセンスを提供して代理店化を進める。

補修の新工法は、米国のロックンステイツ社が開発。亀裂上に専用ドリルで、一定の間隔で穴を開け、特殊ねじを埋め込んで亀裂をふさぐ。特殊ねじは、ねじ山が二十度上向き。金属をねじ側へ引きつける力が発生し、亀裂部分が密着する仕組みだ。

また金属に亀裂が発生した場合、溶接で補修するのが一般的だが金属に

びずみが出て再び亀裂が発生するケースも多い。米国では、工場以外に発電施設などでの補修需要があり、ロックンステイツジャパンでは電気化学工業の青海工場(糸魚川市)の修理も今年一月に行っている。工費の目安を長さ十センチ、深さ二センチの亀裂で十三万円としており、「亀裂の再発で溶接を繰り返したり、大型機械を入れ替えること

に比べればコスト削減につながる」とメリットを説明する。また同社では、特殊ねじを車や製造用ロボットに組み込めば、軽量、コンパクト化できるとして、メーカーにも売り込んでいく考えだ。